

【8月の活動報告】

はじめまして。

新緑会で過去問係を担当しております、修士1年・和田航太郎です。



私の所属する構造安全・白旗研究室では毎年夏に、steel bridge competition、通称“ブリコン”と呼ばれる大学対抗の橋梁模型大会へ出場しております。学生が4mの橋梁を設計、制作し、大会当日に強度や架設タイム、重量、美観等を競う競技です。今年は台湾でのアジアブリコンと岐阜大学で行われるジャパンプリコンの両方に参加します。

先日参加した、アジアブリコンについて紹介します。写真は全18大学の橋がズラリと並んでいる様子です。都市大ブリッジは手前から2番目の銀色の桁橋です。17のトラス橋が並ぶ中、唯一の桁橋として挑戦しました。この橋は、荷重条件、載荷位置がより厳しい日本大会にも併用します、(桁内部のトラスは日本大会の条件に合わせて組みました。)



結果ですが、

たわみが解析値を大きくオーバーしてしまい、総合順位は13位ということで悔いの残る結果でした。しかし、この橋が一番輝くのは日本大会です。わずかな日数ですが補強を施し、タイトルをつかみたいと思います。

結果とは別に、台湾ではとても楽しく過ごせました。夕食の時間には、台湾、タイ、インドネシア、モンゴルの学生とテーブルを囲み、友達もできました。お酒もちよっぴり飲めました。来年のタイで行われるアジアブリコンに参加する約束をしたので、もっと会話できるよう英語を勉強します。